

2025年6月27日  
サンデン株式会社

## 群馬県庁にて“持続可能なモノづくり”

### 脱炭素支援セミナーにてカーボンニュートラルに向けたサプライヤー支援事例を紹介



セミナーの様子(左奥:当社登壇者)

2025年6月13日、サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市、以下、当社)は、群馬県庁にて開催された「令和7年度 ぐんま脱炭素支援サービスキックオフセミナー」(主催:群馬県)に登壇し、当社のカーボンニュートラルに向けた取組み事例を紹介しました。

本セミナーは、「ぐんまカーボンニュートラル推進会」の活動の一環として、中小企業向けに取り組む事業「ぐんま脱炭素支援サービス」の趣旨に基づき、県内事業者が、脱炭素経営を進めるうえで必要な手法や支援のあり方を共有することを目的に開催されたものです。

当日は、当社のサステナビリティ担当者が登壇し、カーボンニュートラル実現に向けた取組みの中で特に課題となっている Scope3(サプライチェーンにおける温室効果ガス排出)への対応について、参加された企業の皆様への支援のあり方や自治体との連携の重要性について、その取組み事例を紹介しました。

その具体例として、昨年当社の Scope3 削減に向けた取組みとして群馬県と連携しおこなった、当社、取引先様の Scope2(電力)に該当する CO<sub>2</sub>削減の成果事例を報告しました。

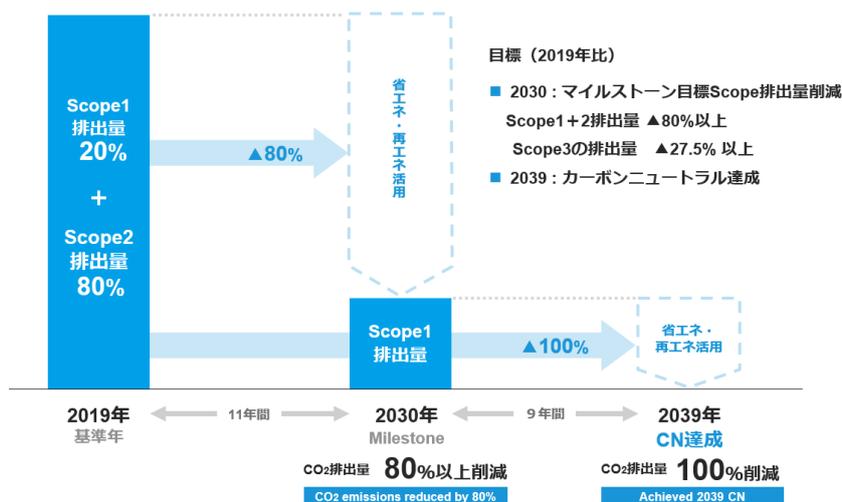
また、質疑応答では、「当社のサプライヤー選定基準はどうしているのか?」といった具体的な質問も多く寄せられ関心の高さがうかがえました。

当社は今後も省エネ診断の補助、支援策の明確な伝達、成果の共有機会創出などを通じて、より実効性のある地域連携型の脱炭素推進を目指してまいります。

Scope1 (直接排出量)	燃料の燃焼：事業所自らによる温室効果ガス排出量
Scope2 (間接排出量)	供給：他社から供給された電気・熱・蒸気使用に伴う排出量
Scope3 (その他の排出量)	上流 Cat1：原材料 Cat2：資本財 Cat3：Scope1・2に含まれないエネルギー Cat4：輸送・配送 Cat5：事業から出る廃棄物 Cat6：出張 Cat7：雇用者の通勤 Cat8：リース資産
	下流 Cat9：販売した製品の輸送・配送 Cat10：販売した製品の加工 Cat11：販売した製品の使用 Cat12：販売した製品の廃棄 Cat13：リース資産 Cat14：フランチャイズ Cat15：投資

Scope 詳細(企業の CO2 排出の範囲(区分))

## ● 当社のカーボンニュートラルへの取り組み



サンデンのカーボンニュートラル計画

当社は、脱炭素社会の実現に向けて、2039年までにカーボンニュートラルを達成することを目標とし取り組みを推進しています。これは、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」よりも11年早い目標であり、当社の先進的な姿勢を示すものです。

また、2030年に設定しているマイルストーン目標については、地球の平均気温上昇を産業革命前と比較して1.5℃に抑えるという「パリ協定」の目標に沿い、Science Based Targets (SBT) イニシアチブが示す科学的なシナリオに準拠して設定しています。こうした取り組みが評価され、当社は2023年10月にSBT認定を取得いたしました。

当社は、今後も、自治体や他企業との連携を通じて、“持続可能なものづくり”の実現に向けた共創と学びの機会を広げ、社会とともに成長してまいります。

[参考リンク]

・令和7年度 ぐんま脱炭素支援サービスキックオフセミナー

<https://www.pref.gunma.jp/page/701231.html>

---

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : [sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com](mailto:sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com) Web : <https://www.sanden.co.jp/>